

教科	数学	科目	数学入門	履修区分	選択	使用教科書	東京書籍『ラスバ数学』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 中学校の内容における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、事象と数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
 (2) 事象を数学的に考察し、表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、中学校の内容における数学的な見方や考え方を身に付けている。
 (3) 中学校の内容を復習することで、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教材ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	東京書籍インターネット講座			
P. 1, 2, 4, 7 整数の四則演算(ひっ算含む)	1	①	I・Ⅲ期	NHK高校講座	東京書籍インターネット講座	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。加法及び減法の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできる。また、それらの筆算の仕方について理解している。
P. 2, 5, 9, 10 小数・分数の四則演算(ひっ算含む)	2						思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
							主体的に学習に取り組む態度	加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
P. 11, 14, 15 分数の四則演算	3	知識・技能	乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について、乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、理解している。					
		思考・判断・表現	乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて、小数を用いた倍の意味などをもとに、乗法及び除法の意味を捉え直している。					
		主体的に学習に取り組む態度	学習したことをもとに、小数の乗法及び除法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り多面的に考え検討したりしようとしている。					
P. 3, 6, 8, 12, 13, 16, 17, 29, 30 角度・面積・体積・割合(%・比)・比例式 時間の単位・速さ、道のり、時間の関係・反比例	4	②	Ⅱ期	NHK高校講座	東京書籍インターネット講座		知識・技能	立方体や直方体の体積を公式を用いて求めることができる。数量の関係や法則などを簡潔かつ一般的に表すという式の役割について理解している。
							思考・判断・表現	体積の単位や図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積の計算による求め方を考えている。簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応の関係を表にまとめ、伴って変わる二つの数量の変化の仕方について考察している。
							主体的に学習に取り組む態度	立方体や直方体の体積についても、単位の大きさを決めると、その幾分として数値化できるというよさに気づき、学習したことを基に、立方体や直方体の体積の公式を導きだそうとしたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。二つの数量の対応の関係を表にまとめ、伴って変わる二つの数量の変化の仕方について、考察しようとしている。
P. 18, 19, 21, 31, 32 文字式・式の値・平方根の計算	5	知識・技能	正の数と負の数、文字を用いることの必要性和意味を理解している。簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。数量の関係や法則などを式を用いて表したり読み取ったり、目的に応じて簡単な式を変更したりすることができる。					
		思考・判断・表現	具体的な数の計算や既習の計算方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。					
P. 20, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28 文字式の計算・1次方程式・連立方程式・文章問題	6	知識・技能	方程式の必要性和意味及び解の意味を理解している。1次方程式、連立方程式を解くことができる。因数分解や解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。					
		思考・判断・表現	因数分解や平方根の考えを基にして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。具体的な場面で、1次方程式、連立方程式、2次方程式を活用することができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	1次方程式、連立方程式、2次方程式のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習に活かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。					